

教科		美術		科目	構成	単位数	3 単位
学年	2 年	科	美術造形デザイン科		専攻・コース		
教科書		光村図書 美術 1		副教材	敵宣テキストプリントを配る		
学習到達目標		<p>○染色（布の表現）、陶芸（土の表現）の素材の特徴と制作手順を理解し、表現の多様性を探る。</p> <p>○生活の中にある布、土素材の道具に関心を持ち、素材の多彩な表情を発見し、その質感を魅力として造形表現に展開していくことが出来る。</p> <p>○形態と色彩、材料を関連付け、多角的な発想力をつける。</p>					
評価の観点		<p>○課題の中に自分のテーマを持ち、興味・関心・課題意識に基づいて探求的に制作活動を行う。</p> <p>○制作完了後は全員で発表・討議を行い講習会をおこない、自分の制作を振り返るとともに、他者の課題 意識や表現技法について知る。</p>					
期	月	学習内容・項目		学習のポイントと到達目標		備 考	
前	4	陶芸 デザインと製図		<p>○身体の骨格を意識すること、頭部と体、手足と体との関係が造形物の基本になっていることを理解する。</p> <p>○頭部は眉、鼻すじを意識し、瞼、眼球類の位置と凹凸を見極めること。陶芸の性質上強めの表現をすること</p> <p>○可塑性のある素材を存分に活かし、細部への表現を丁寧に行う。</p>			
	5			<p>○土粘土の扱いを理解し、制作段階に適切な湿度のコントロールをすること。</p> <p>○白化粧ど利用。</p> <p>○下絵具、釉薬を利用し、装飾し、焼きものとして装飾的な重量感ある仕上げをする</p>		資料収集 エスキース 作品全体講評 作品提出	
期	6						
	7	シルクスクリーン実習 型絵染		<p>○シルクスクリーンの技法を用いてデザインと制作をする。型の起こし方が型絵染とは違うことを理解する。型を利用した染めは数種類あるが技法の違いと表現の違いに関心を持つ。</p>		資料収集 エスキース 作品全体講評 作品提出	
	8	型絵染		<p>○静岡にゆかりのある芹沢圭介の染織工 芸に関心を持つ。</p> <p>○パターンデザインはウィリアムモリスから始まり、現代ではマリメッコなどテキスタイルを中心にデザインの手法として多様に应用されていることを知る。</p>			
	9	型絵染		<p>○描写する、端的に描くなど表現の幅を広げる。</p>			

期	月	学習内容・項目		備考
後	10	型絵染	<p>○地と図の関係性を理解し、空間全体を関連つけて計画する。</p> <p>○型に起こすデザインの方法を理解し、型としての規制をデザインに取り入れる発想をもつ。</p>	
	11	型絵染	<p>○型に起こす。糊置きする。染色する。といった作業工程において必要な作業の意図を理解し、進めること。</p>	
	12	ワイヤーアート	<p>○昆虫をテーマにアルミワイヤーを用いて立体表現する。</p> <p>○胴、胸、腹、足、羽というパーツのバランスを生き物の特徴をとらえて、より誇張した立体イラストレーションという感覚で表現する。</p>	資料収集 エスキース 作品全体講評 作品提出
期	1	ワイヤーアート	<p>○4種類の太さの違うアルミワイヤーを立体の骨格となるライン、装飾としてのライン、面として量を表わすものとして使い分け、構造体とデザインを一体とした考え方を持つこと。</p>	
	2	ワイヤーアート	<p>○七宝焼きを使用し、眼球の表現に取り入れキャラクターとしての力を持たせる。</p> <p>○七宝焼きの技術を理解する。</p>	
	3			